

新商品「うきはん素麺」

「エンニチ」で販売スタート 新たな拠点施設の計画

今夏、新商品「うきはん素麺」の販売を開始いたしました。小麦の雑味や香りをあえて引き立てた特別な麺ですので、ぜひご賞味ください。FFGグループ企業のiBankマーケティングが運営する地域共創型オンラインストア「エンニチ」でも販売します。

また、「うきはん小麦」の新たな拠点施設として、日本初の農民劇団「嫩葉会」を生んだ安元知之医師の生家跡を整備する計画があります。この施設では、うきはん小麦の商品販売や、麺打ち、料理



8



9



10

8.贈答用として人気の「うきは産100%産地限定小麦粉」。左から強力粉、薄力粉、中力粉。各800g/9.うきはん小麦のパンケーキの素/10.夏の新商品「うきはん素麺」

体験、農業体験などができることを目指しています。施設をつくることで雇用が生まれ、地域の活性化につながることを期待しています。この事業は、2025年7月1日付けで「うきは市ふるさと創生クラウドファンディング活用型 個性あるまちづくり事業」に認定されました。現在、8月中旬にクラウドファンディングを開始できるようCAMPFIREと打ち合わせ中です。皆さんもぜひ応援してください。

「道の駅うきは」の西側に位置する円形劇場は1925年に農民劇団が建設した野外劇場



今年100周年の円形劇場跡

うきは「小麦」活性化プロジェクト

ホームページはこちら



商品はエンニチで
購入できます



クラウドファンディングは
こちら



です。2016年の発掘調査で建設当時の遺構が見つかり整備されました。今年が100周年を迎えることから、11月にはイベントも計画しています。プロジェクトに関わってから、ほぼ毎週末、福岡市からうきは市へ通う生活ですが、とても充実しています。うきはん小麦を通じて、人との輪が広がるばかりです。銀行にいるときに出会えなかった人たちとの出会いがあり、そのおかげで見識も広がります。私がうきは市に仕事で関わったのは、吉井支店長時代の1年半ですが、まさかこれほど多くのご縁ができるとは思っていませんでした。この活動を通じて、人生が豊かになっていることを実感しています。

うきは「小麦」活性化プロジェクトは、小麦の生産農家、うきは市、地元県立高校、地域企業・団体、金融機関など、多くの方々の地元を愛する想いで成り立っています。これからも「うきはん小麦」の美味しさをたくさんの人に伝えていきたいと思っています。